

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第1区分  
 【発行日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【公表番号】特表2010-534333(P2010-534333A)  
 【公表日】平成22年11月4日(2010.11.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-044  
 【出願番号】特願2010-517474(P2010-517474)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

G 0 1 N 1/22 (2006.01)

G 0 1 N 33/497 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/48 S

G 0 1 N 1/22 X

G 0 1 N 33/497 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月3日(2011.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

呼気流入口と流出口とを有するチャンバと、  
 チャンバの流出口から呼気を受容するように適合される、空気排出手段を有する部分的蓋付き皿状部で構成されるサンプル収集器と、  
 使用時にサンプル収集器に入った呼気から蒸発気体の凝縮液を生成するための、部分的蓋付き皿状部と作動可能に連携している冷却手段と  
 から構成される、  
 呼気凝縮液採取装置。

【請求項2】

サンプル収集器は、チャンバの流出口から離間され、流出口は部分的蓋によって形成される開口部に連携している、請求項1に記載の呼気凝縮液採取装置。

【請求項3】

チャンバが円筒形である、請求項1または2に記載の呼気凝縮液採取装置。

【請求項4】

チャンバの少なくとも一部がテーパ付けされる、請求項1、2または3に記載の呼気凝縮液採取装置。

【請求項5】

チャンバの内面の少なくとも一部が疎水性材料で構成される、請求項1～4のいずれか一項に記載の呼気凝縮液採取装置。

【請求項6】

サンプル収集器の内面の少なくとも一部が疎水性材料で構成される、請求項1～5のいずれか一項に記載の呼気凝縮液採取装置。

【請求項7】

冷却手段がペルティエ装置で構成される、請求項1～6のいずれか一項に記載の呼気凝縮液採取装置。

## 【請求項 8】

棒状部をさらに有する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の呼気凝縮液採取装置。

## 【請求項 9】

棒状部がテーパ付けされている、請求項 8 のいずれか一項に記載の呼気凝縮液採取装置

。

## 【請求項 10】

棒状部が弾性的に変形可能である、請求項 8 または 9 に記載の呼気凝縮液採取装置。

## 【請求項 11】

棒状部の表面が疎水性である、請求項 8、9 または 10 に記載の呼気凝縮液採取装置。